

# 東日本大震災ルーテル教会救援

Japan Lutheran Emergency Relief 【JLER】

ルーテル教会救援 現地活動 月次報告 No.10

2012年8月度 活動報告 (2012年9月27日発行)



東日本大震災で被災された皆さまに心よりお見舞い申し上げます。  
またルーテル教会救援の活動にご理解・ご協力いただいている  
皆さまに心より感謝いたします。



震災から二度目の夏。東北三大祭りである「仙台七夕まつり」も無事開催されました。今年のテーマは「願い・希望・感謝」。このお祭りに限らず、東北で開催されるお祭りには、東日本大震災で全国各地から寄せられた支援への感謝や復興への願いが込められています。津波を被った土地にも、ひまわりなどの花が咲き、復興元年の夏を迎えました。8月の活動を報告いたします。



## 石巻市【身体障害者“歩む会” ～石巻川開き祭り・アクアパレード】



石巻では7月31日・8月1日に、治水で石巻の街を救った川村孫兵衛重吉扇に対する報恩感謝の祭りとしてはじめられた「川開き祭り」が開催されました。この日に向けて、活動を再開してきた石巻身体障害者「歩む会」。二年ぶりのアクアパレードでの車いすダンスは、沿道から多くの方の声援を受けて、大成功をおさめました。メンバーの皆さんの輝くような笑顔に、「復興」とはこういうことなのだ」と胸に迫るものを感じました。スタッフ佐藤も、メンバーの一員としてダンスを披露。普段とは全く違う装いに、一同驚愕でした。

## 【となりびと】2011年の活動と今 ～救援活動開始から1年を過ぎて



8月は夏休みということもあって高校生や大学生など、学校関係者が、ボランティアに訪れる時期です。昨年同様、今年も埼玉や東京遠くは熊本の学校からボランティア活動に来て下さいました。

昨年の8月は、主におすそ分けプロジェクトに関わりました。東京の女学生達が活躍し、仮設住宅の集会所は熱気に包まれてい

ました。そして今年の8月は、仮設支援が主でした。高校生は自分達でプログラムを用意し、どうしたら喜ばれるかを考えました。大学生も被災地を感じ、その思いを支援の現場で体現していました。

一年半ほど経過した被災地は、ボランティアの地と併せて、学びの地へともその役割を変化させつつあります。(抱井)



## 【となりびと】活動を終了しました。



震災直後から被災地に入られ、2011年5月からとなりびとスタッフとして、活動を続けてこられた抱井昌史さんが、活動を終わられました。時折見せる笑顔が素敵な抱井さんの、地道な働きに感謝です。

抱井さんから → 今まで多くのボランティアの方々に支えられ、活動を続けてくることができました。私が

一番印象に残っていることは、雨の日も、風の日も、決して投げやりになることなく、地道に生活をしている東北の方々の姿です。ありがとうございました。

